



3/11(金) 第985回例会

クラブホームページと合同会報の紹介



PR・情報委員会副委員長 L. 加藤正彦が講師を勤め、例会場に持ち込んだパソコンの画面をスクリーンに映し基本的なパソコンの操作方法やインターネットを利用した検索方法などの説明と、クラブホームページの紹介をととも分かりやすくゆっくりと講義しました。想像以上に反響があり、継続的に実施していきたいと思いました。



続いて4R1Z合同会報編集委員長 L. 太田雅夫に合同会報について説明していただきました。その中で、過去年度の合同会報にも触れ、「資料的価値もあるので、是非現在のものと比べながら楽しんでください」とPRLしました。

おかざきマーブルタウンのPR



岡崎青年会議所  
次世代育成事業実践委員会 委員長 鳥居直之 様  
次世代育成事業実践委員会 委員 高津明江 様  
まちづくり推進委員会 委員 日比谷啓太 様  
3名の方が『おかざきマーブルタウン』についてのPRと協力依頼に来場されました。

『おかざきマーブルタウン』とは  
子どもによる模擬都市を形成します。子どものまちづくり体験で感性を成長！ 基本的な構造はすべて自分たちで考えるのです。  
住民登録して・・・  
ハローワークへ・・・  
造幣局や役場窓口で・・・  
給料(疑似通貨: マーブル)をもらって・・・  
問屋へ行って買い物・・・  
お店をつくって・・・  
お店で売った商品をつくって・・・  
税金を納める・・・  
投票して・・・  
立候補して町長に・・・  
他の店に買い物へ・・・  
これらの体験を子どもたちで考えて、関わり合いながら成長する4日間！ 体育館が“まち”になる4日間

おかざきマーブルタウンポスターの告知文。ポスターには「おかざきマーブルタウン」のロゴと「ボクらのまちを、ボくらがつくる4日間! 2011年8月18日(木)~21日(日)」の文字が写っている。ポスターの下部には「ボランティア・サポーター募集! 子どもたちをサポートする高校生から大人を大募集!」とあり、サポーターの役割、おかざきマーブルタウンのルール、サポーターの心構えとおかざきマーブルタウンの目指すものについて詳しく説明している。

## 東北地方太平洋沖地震災害について



義捐金や見舞金、そして行事の自粛や節電などについても話し合わせ、我がクラブも出来る限りの協力を迅速に行うことを決議いたしました。



## チャーターメンバーL. 岡田康孝による会員卓話



シベリア抑留の凄まじい体験を聞かせていただきました。力強く話をする姿は、とても卒寿をすぎた方とは思えない若々しい姿で、刺激になりました。尊敬する先輩でもありますが、ライバルですね！

## 同じくチャーターメンバーのL. 西山育男のライオンズ・ローア



ユーモアを交えた一言をいただき、一斉のウォー！（これからも、クラブのことをよろしく願います。）

